Kamagaya International Friendship Association

K·I·F·A Plaza

第42号

2001年（平成13年）7月31日
発行：鎌ケ谷市国際交流協会
〒273-0195　鎌ケ谷市初富928-744
TEL　047-445-1141（内550）
FAX　047-441-9400
http://www.kifa.gr.jp

KIFA2001年度語学研修講座開講式

～ハワイアンコンサートも同時開催～

5月27日、市総合福祉保健センター6階の大会議室において2001年度の語学研修講座合同開講式が行われた。ＫＩＦＡ（鎌ケ谷市国際交流協会）の語学講座は英語3講座・スペイン語・中国語、さらに鎌ケ谷近郊の外国人向けの日本語講座が年間を通じて実施される。今回も定員を上回る応募者があり、多くの方たちが受講出来ない結果となった。

例年のことながらＫＩＦＡ語学講座は人気の的になっている。それは、ネイティブの講師による懇切ていねいな指導、受講生相互のコミュニケーションの心地良さ等によるものではないでしょうか。

「抽選の結果、講座に参加出来る事になった皆さんには、漏れてしまった方たちのためにも、最後まで積極的に授業に参加して頂くことを期待します。」とのＫＩＦＡ田澤会長から140人あまりの出席者に向けてのメッセージがあった。講師の先生方と講座担当者、そして受講生との連携による各講座はすでにスタートを切っており、今、楽しく愉快な学習が始まっている。

アロハオエ！

～♪♪ハワイ～の波しずか～♪♪～

午後2時からのイベントは「ハワイアンコンサート」へのお誘いである。受講生に加え、一般市民の方々多くがつめかけ用意した座席は満席となった。ゴミ一つ落ちていないワイキキの浜辺や太平洋に沈む夕日の美しさは、いつの日も人々の心を和ませる。この日の演奏は、明治大学同期生のメンバーで結成しているハワイアンバンド「ワイキキ・ドリーマーズ」。その活動は多彩で、チャリティー・ライブコンサート・ダンスパーティーや結婚式などで幅広く、さらにボランティア活動にも積極的に取り組んでいる。その昔は若かった方たちだ。大学卒業後20数年を経て首都圏に住む仲間たちが集い、毎月練習に励み演奏活動を再開し始めたとのこと。

誰もが口ずさむことの出来る「珊瑚礁の彼方」「南国の夜」「小さな橋の下」「カイマナヒラ」等々、その張りのある歌声とリズムは多数の観衆の心を魅了した。

2001年度鎌ケ谷市国際交流協会総会開催

５月20日（日）、午後１時30分より市総合福祉保健センター６階大会議室において、本年度の総会が開催されました。田澤ＫＩＦＡ会長より

・国際交流、国際理解はお互いが仲良くする事から始まる。
・理事団体を紹介する小冊子をワカタネへ送付した。
・８月に市民訪問団をワカタネへ派遣する。
・2002年に向け早期に事業の検討を進めていきたい。

等のあいさつがありました。飯田泰己議長が選出され、議事に入り、12年度の各部会事業報告並びに収支決算報告がなされました。さらに13年度の事業計画案、予算案、役員の一部変更、又規約の一部改正について審議され、すべて承認されました。総会終了後、同会場で親睦パーティーが開催され、会員による歌唱指導で、なごやかに交流の輪が広がりました。

◆今年度の事業計画は下記の通りです。

1　在住外国人との交流
　バスツアー／バーベキューパーティー／ＫＩＦＡパーティー／国別交流会／料理講習会
2　語学研修講座の開催
　英語会話３講座／スペイン語会話１講座／中国語会話１講座／フレンドリー会話１講座／開・閉講式／講師交流会／日本語講座１講座／日本語ボランティア研修会（２回）／校外学習会／近隣市町日本語ボランティアネットワーク会議／外国語に親しむ会

皆川名誉会長の挨拶

3　講演会・イベントの開催
4　会報の発行
　年３回発行（Ａ４　８ページ　3500部）
5　ホームページ事業
6　海外交流事業
　姉妹都市への派遣事業
7　ホームステイ・ホームビジットの受け入れ（随時）
8　通訳ボランティア活動の促進
　研修会／要望により通訳・翻訳をする
9　市民夏まつり事業参加
10　東葛地区国際交流協会連絡協議会及び他市との交流

◆役員の一部変更（敬称略）

酒井哲郎	広報委員長
原　八郎	市体育協会
篠原英世	市子育連
口石幸久	市ライオンズクラブ
川尻秋重	市生涯学習部長

和やかな親睦パーティ

◆規約の一部改正

第６条中「正会員」を「会員」に改める。
第19条を第21条とし、第18条を第20条とする。また第17条の次に次の２条を加える。
（表彰）
第18条　当協会の発展に著しく貢献のあった個人もしくは法人・団体に対し、理事会の承認を経て、定期総会において表彰する。
（会員の資格喪失）
第19条　会員が協会規約に違反した場合、又は名誉を毀損し運営に重大な支障となる行為を行った場合、理事会の決議により会員の資格を喪失する。

※総会資料の必要な会員の方は、ＫＩＦＡ事務局（市役所５階）までおいで下さい。

姉妹都市ワカタネへ今年も行きます

昨年２月、姉妹都市提携後第１回のニュージーランドワカタネ訪問を実施しましたが、今年も８月22日から８日間の予定で市民訪問団が行きます。日本と季節が反対ですので、ＫＩＦＡ成人派遣としては初めての冬の訪問。その季節を両方体験出来るのも興味あるところです。今回は日程的にもワカタネ訪問が中心になっていますのでより深い交流が予想されます。

参加者は会員や一般応募の方の他ＫＩＦＡ理事団体からの参加も得られ、目的を同じくするワカタネの団体との交流会等が予定されています。その中でもそば道場を経営するご夫妻が同行する事からＫＩＦＡ事業として、日本の伝統的な食文化披露という事で、参加者全員が協力しての「そば打ち会」も企画されています。

広大な自然を満喫させてくれるワカタネと温かく優しい市民との出合い、ますます期待がふくらみます。

ＫＩＦＡバスツアー
河口湖畔と勝沼ワイナリーの旅

梅雨入り直後の曇り空の６月10日（日）朝８時、総勢92人の抽選で選ばれた幸運なツアー参加者は、バス２台に分乗して鎌ケ谷市役所前を出発した。今回は外国出身者の参加が30人と例年に比べて多く、出発後まもなく行なわれた他己紹介（隣りの人の紹介）では、日本語と英語が飛び交うなど、ＫＩＦＡの名にふさわしいものとなった。

最初の訪問先である河口湖ハーブ園には午前11時に到着した。最近のハーブ人気を反映してか、ハーブ園の中は既に多くの観光客で賑わっていた。私達も河口湖をバックに記念写真を撮った後、百種類以上の花のハーブグッズのショッピング、またハーブソフトクリームを食べながらの談笑とハーブの世界を満喫した。

ハーブの香りを楽しむ

ハーブ園から20分ほど走ったところにある河口湖美術館は、富士山をモチーフにした絵画や写真の常設館で、あいにくこの日は見ることは出来なかったが、湖をへだてて富士山を望むことも出来る。薄日に映える芝生の広場で、まるでピクニックに来たような気分でにぎやかに昼食をとった。

ワイナリーの見学

自由行動では、フランス人画家ビュフェの遺作展を見たり、ＪＡ物産館でのショッピングあるいは緑のジュータンの上でサッカーゲームをしたり、と楽しい時間を過した。

最後に訪れたシャトウ勝沼は、ぶどう畑と甲府盆地を一望出来る山の中腹にあり、勝沼でも高名なワイナリーの一つでもある。ワイン工場の見学を終えて、お楽しみのワイン試飲で顔を赤らめ、「ほうとう」などのお土産を買ってワイナリーを後にした。

帰路のバスの中は、一日ですっかり打ち解けた雰囲気に変り、ＫＩＦＡ会員などから提供頂いた豪華賞品をかけて行なわれた伝言ゲーム対抗戦、鎌ケ谷到着時間当てゲーム、物当てゲームなどで、大いに盛り上がった。夕方の交通渋滞に遭いながらも午後７時35分、鎌ケ谷市役所に帰着した。

こうしてバスツアーは雨に降られることもなく、多くの人との新しい出合いを歓び、交流を深め、楽しい思い出を残して終った。

参加者全員記念撮影

ネリーを迎えて

添野　愛子

小さな我が家で申し訳ないなと思いながら、昨夏、娘がホームステイをさせていただいたお礼もあり、ネリーという女の子をお引き受けいたしました。

私の三人の子供達もそれぞれ国は違うのですが、ホームステイの経験がありましたので、子供達の意見も参考にしながら、ネリーの日本での日々が少しでも有意義なものとなるよう準備し、期待して迎えましたが、ネリーは大きな子供でした。ホームシックになったり、スケジュールいっぱいで疲れ気味の日々に、うまく手助け出来ない片言英語の私は、「ごめんね」の日々でもありました。それでも、ネリーは時にはユーモアで私を和ませてくれたり、にっこり笑ってくれた時の嬉しさは、今でも忘れられません。

左端　ネリーさん

今、思い出しても、平日の２人の会話は滑稽で、勘違いばかりだったかも知れません。沢山のお土産と想い出をいっぱいに、早朝の東武鎌ケ谷駅のホームに去ったネリー。今頃はワカタネでどんな日々を過ごしているでしょうか。私は面白い日々をネリーと共に過ごさせていただきました。

ウェルカム，マシ

初めてのホストファミリー。決定した時から言葉、食事等の不安が募る。だがそれよりも我家で何をしてあげられるかを考える。家族の協力も得て“剣道”を体験してもらう事になった。対面の当日、孫と三人で会場へ行き、マシュウ君とエレン君が紹介された。とても可愛らしい高校生で、マシュウ君はしっかり者のお兄さん。エレン君は甘えん坊の弟といった感じ。すっかり我家へ溶け込んでくれた。私達夫婦と新しい息子達は電子辞書と身振り手振り。片言の会話は息子夫婦と孫。心配していた事はどこへやら。

心で会話が出来る事を実感。剣道は素振り、面胴打ちと簡単な練習をし、最後に胴着、袴、防具を着けて“ハイポーズ”。

４月７日㈯～４月17日㈫までワカタネの高校生が鎌ケ谷でホームステイをしました。

ホームステイ

私も受け

英語A　ナサニエル先生　㈫

教室の中で、生徒達は恥かしがっていますが、30回が終わればニュージランドへ行って、英語を使って見て下さい。ニュージランドへ行けば誰も知った人がいないので恥かしく思わないでしょう。休まないで、最後まで授業を受けて下さい。きっと上達するでしょう。

〈星野幸也〉「私の名前はナサニエル・ロブソン。ナットと呼んで下さい。納豆ではありません。」こんな挨拶で英語Ａの授業は始まりました。ニュージランド出身で、背が高くて、ハンサムな若さに溢れた先生です。久し振り、いや何十年振りでしょうか。やはりネイティブの方の英語を耳にするのは、私にとっては大変嬉しい事です。ラジオ講座を聞いているのとは違い、実際に話された言葉が直接耳に入って来るのは、まさに生きた英語と接している感じで気持良く響いて来ます。早く力を付けて気軽に外国の人と意志の伝達のみならず談笑出来たらなあ、と思っています。

英語B　キャッシー先生　マルティナ先生　㈭

キャッシー先生から、ひとこと

初級とはいえレベル差があるが生徒同士が助け合ってくれて良かった。私のまずいジョークに笑ってくれてありがとう。

マルティナ先生から、ひとこと

リラックスした中で、楽しく英語を勉強してもらいたいです。

〈小林繁正〉私は今回初めて英会話を受講します。開講式の時、講師のキャッシー・オーマンド先生を紹介されました。先生は日本語はどうなのか不安でした。しかし日本語と英語を程良く使いこなし、とても熱心に教えていただけます。笑いあり、時には理解に苦しむ様な日本語もあり、バラエティに富んでいて、楽しい授業だと思います。また、担当者の方をはじめとして周りの方々も色々と良くしてくれますので安心して授業が受けられます。

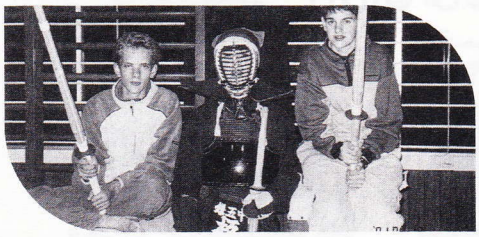
（残念ながらキャッシー先生はご都合により７月までとなりました。その後は、マルティナ先生が担当いたします。）

英語C　エアレン先生　㈮

まだ授業は始まったばかりですが、教室の雰囲気は皆フレンドリーだし、楽しんで教えています。生徒同士がテキストを見ないでフリートーキングが出来るようになればと思っています。２月頃には私のユーモアも分ってもらえるでしょうね。私の故郷カナダにも行きましょう。

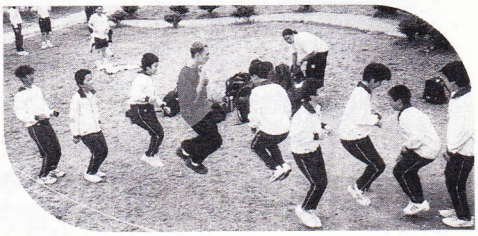
〈綿貫知子〉鎌ケ谷に住んで４年。今年は何故かＫＩＦＡの記事が目に止まり、すぐハガキを出したのが私の英会話教室の始まりでした。エアレン先生は若くて、とってもハンサムな先生です。（ラッキー！！）生徒の方達も様々で、やはり近くで受講出来る事が受講生の幅を広げているようです。皆さんとても活発で、学ぶ事を楽しんでいるように感じます。私は20年振りに辞書を開いた浦島太郎ですが、それでもクラスの空気に元気付けられ毎週の授業を楽しんでいます。少々落ちこぼれつつも、１年間元気に過ごしたいと思います。先生、皆さんよろしくお願いします。

ュウ&エレン 太田 充子



孫達同行で東京タワー、横浜、そして日ハム球場では、ボールをプレゼントされて大喜びでした。あっと言う間の10日間、「ワカタネに来たらボク達の家に泊まって下さい。２年後にまた来ます。」と言ってくれた。別れの朝、駅に送り彼達の去った部屋には二人のメッセージが置いてあった。そして京都からは元気に旅しているとの便りが届いた。貴重な体験をさせていただき感謝しております。

行きたくなったニュージランド 豊田 博恵



この10日間のホームステイでは、とても素晴らしい人々に刺激を受け、有意義な時間を過ごす事が出来ました。自分を振り返り、生活の仕方や生き方、人生の送り方等、日本（鎌ケ谷）での環境や人びとの生活態度は、反省する所が多々ありました。鎌ケ谷に越して来て１年しかたっていない私は、英語の勉強を兼ねた「挑戦してみようかな」と思うだけのトライ精神で何とかなるだろうからとの勢いで乗り切ろうと言う動機は不純だったのかも知れません。また、10日間のホームステイは「大変だねえ」「よくやるねえ」と周りの人々によく言われました。私も初めての事で戸惑いや、誤解、疲労や出費もかなりありましたが、大変だった事より、得る事の方が多かったし、大きかったと感じました。

一度も行った事のないニュージランドですが、暮らして見たくなりました。この10日間は私達家族４人の人生に大きな刺激として受け止め、外国人に対する見方、日本人の反省、国際交流の素晴らしさ、今後の人生に大きく生かして行きたいと思いました。最後にこの様なチャンスを下さった皆さんに感謝致します。

てみました

語学講座

英語Ａ・Ｂ・Ｃとスペイン語、中国語、日本語ボランティアの６講座がスタートしました。

スペイン語　クリスティーナ先生 水

今年の新受講生は去年までの受講生に負けない位頑張っています。レベル差はありますが、教えるに当たり、とても面白く、皆さんも楽しく学んでいます。スペイン語は日本人にとって馴染み易い発音です。30回の授業で皆さんの役に立つスペイン語を学んで下さい。

〈太田志津香〉私がスペイン語講座に入ろうと思ったきっかけは、20歳の時に飛行機のチケットを買って一人でバルセロナに行ったからです。その時も英語は勿論、スペイン語は全くしゃべれませんでした。それでもホテルを取ったり、買い物したり、地中海を見たくて列車にも乗りました。そんな時もやさしく色々と話し掛けてくれるのですが、お互い会話が通じずとても残念でした。「スペイン語が話せたらどんなに楽しい旅になるか」と思っていた時にＫＩＦＡを知り申し込みました。授業にはまだ付いて行くだけで精いっぱいですが、先生も明るく楽しい方なので頑張りたいと思っています。

中国語　李　恵敬先生 土

大家好（タジャハオ）！（皆さん、こんにちは）。皆さんが中国語の勉強を始められたのはそれぞれでしょうが、その熱心さは皆いっしょですね。初めて出会う中国語の発音にもめげず頑張る皆さんには感嘆するばかり。一生懸命の皆さんには奇跡が起きるかも！！来年の２月が楽しみですね。

〈石岡友子〉一枚の北京語のＣＤ、漢和辞典に載っていた拼音（ピンイン）、それが私と中国語との出合いです。北京語の歌を覚えたい、本が読めたら、そんなささやかな思いが中国語を勉強したいと思う気持に変わり、受講の切っかけとなりました。そこへ待望のチャンス到来！受講生募集の記事、即応募、受講決定の通知が届いた時は歓天喜地。毎週土曜日が待ち遠しく、学習出来る楽しさに浸っています。何年か後、中国映画を字幕なしで理解出来るようになれたらとそれが学習に対する意欲と大きな夢です。受講開始から未だ日は浅いですけれど、みな和気あいあいとした雰囲気の中で学習しています。

日本語　ボランティア講師 火

外国人に日常生活のコミュニケーションに役立ち、日本文化を知ってもらうために私達ボランティア講師が共に日本語を勉強しています。安易な考えで教えられないことを痛感し、責任も感じています。受講生は皆真面目な人たちで彼等から学ぶ事も多く毎週楽しみです。〈村田〉

〈生徒Ａ〉わたしは、にほんごのべんきょうのためにＫＩＦＡにきてよかった。わたしははじめてきたとき、ともだちがいなかった。いまはいっぱいともだちができました。それからわたしも、すこしにほんごがじょうずになりました。ＫＩＦＡのせんせいたち、みんなやさしいから、わたしもうれしかった。

〈生徒Ｂ〉わたしは、にほんごきょうしつに入ってほんとうによかった、とおもいます。やさしいせんせいたち、そしてたくさんのにほんの人、がいこくの人としりあうことができました。またＫＩＦＡに入って、りょこうにいったりにほんのことをいろいろおしえてもらったり、たくさんべんきょうになりました。

スペイン今・昔

クリスティーナ・ロペス（画家）

Buenos días

ブエノス・ディアス＝こんにちは

クリスティーナ・ロペスさん

昔はスペインの面白さのひとつに、週末や祭りの季節になると、街の広場や路地が楽団のステージになったり、見せ物会場は、ちょっとした劇場になったりする。セマナ・サンタの荘厳な行列はもとより、そうでなくとも、グラナダのサカティン通りやビブランブラ広場、カンポ・デ・パタージャ広場では定期的に開かれる市立オーケストラの無料コンサートをはじめ、毎日のようにパントマイムをする人や、ギターを弾く人、火の付いた棒を放り投げて曲芸する人がいる。それから昔はヤギを高い梯子の上に登らせて音楽を奏でるジプシー一家の音楽隊と、個性豊かな芸の数々で道行く人々を楽しませてくれる。昨今はヒッピー風の若者が笛を吹いてお金を乞う姿も多く見かける。芸を披露してお金を集めるのはいいが、中にはバルのテラスに座っているお客さん目当てに堂々とお金をせびる若者も居て、先日私の友人などは、たった30分の間に5人もの若者がやって来たと言う。こうなるとさすがに落ち着いてビールを飲むどころではなくなってくる。街に物乞いが多いのは、ひょっとして、次の有名なフレーズのせいかも知れない。

"Dale limosna, mujer. Que no hay en la vida nada como la pena de ser ciego en Granada"

（恵んでおやりよ貴女。だってグラナダで盲目であること程、可哀想なことはないのだから。）

ある時マラガではレストランのテラスで食べている時にジプシーが来てフラメンコを歌ったり、ギターを弾いたりする。最初は「ああ、たいした事はない」と思っていたらまるでプロの様な声を出し始めた。と言うのはお金が欲しいからである。お金の出し方も、歌い初めたばっかりの時、お客さんがお金をあげると、ジプシーはこう言います。「すみません、今日は風邪を引きました」と言ってそのまま帰ってしまいます。だからすぐにお金は出さない方がいいと思います。歌ってお金をもらう事はスペインでは禁止している事をジプシー達はよく知っていますから「警察官が来たら速足で逃げるしかない」と思いながら歌います。私が思うのはこう言う習慣がなくなると世界が同じ国になってしまいます。だからいつまでも、スペインの文化は守って行かなければなりません。

「カディスの街角」ご自身の作品

故郷マラガのお祭り

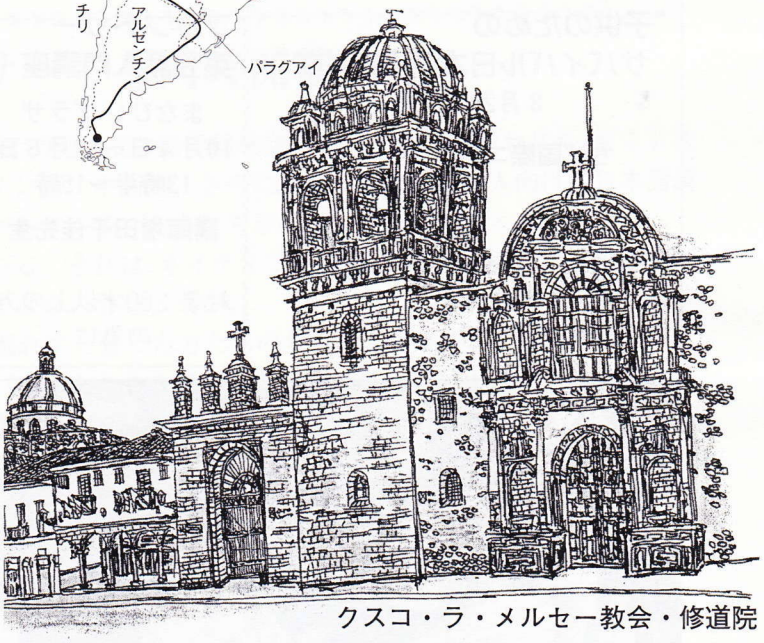
自筆

南米６ケ国スケッチの旅

2001年３月　　渡辺　剛（学生）

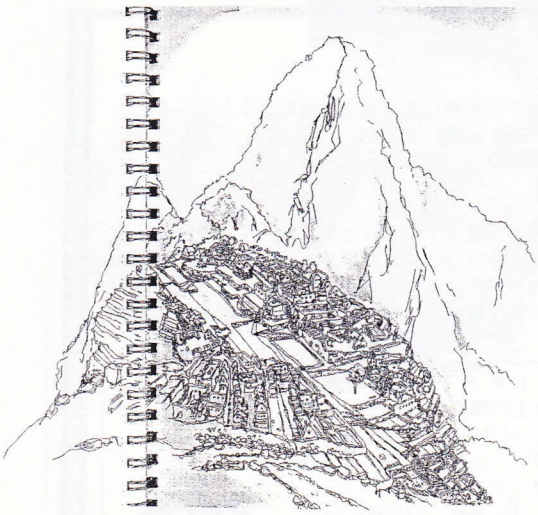
（アンデスの高地に生息する家畜リャマ）

南米初日の夜は、リマに夜10時に到着してそのまま空港のベンチで寝た。理由はホテル代を節約できることと、翌朝すぐこの飛行場からクスコへ向うことができるなどがある。が、夜のリマの街に出て行くのが、空港のベンチで一晩過ごすより怖かった、というのが一番の理由かも知れない。旅行する前、南米は本当に怖いところだと思っていた。結局、多少気をつけていればほとんど問題なかったわけだが、まだこの時はかなりびびっていた。一人での旅行だったけど終わりまで高山病も含めて危険な目には合わなかった。空港泊に関しては、以前にバンコクで経験済みだったので特に心配はしていなかった。空港のベンチでランバダの曲が聞こえてくると思って見たらＵＦＯキャッチャーの機械で、一晩中曲が流れっぱなしだったのは辛かった。

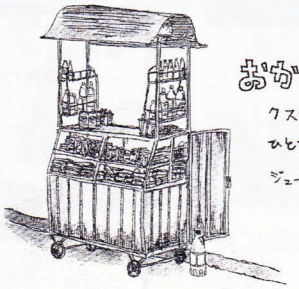


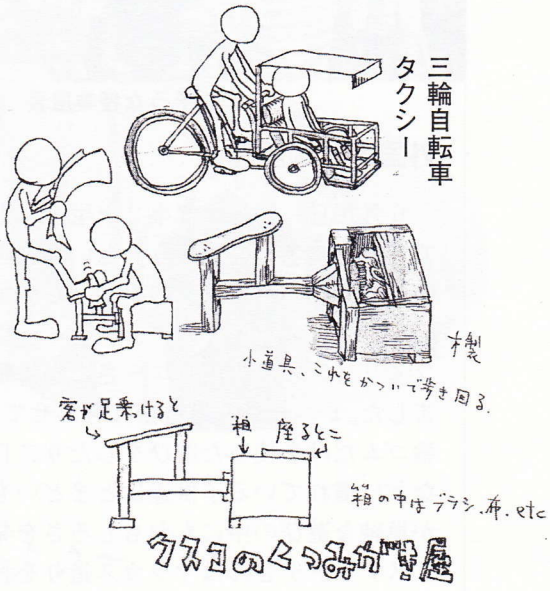
クスコ・ラ・メルセー教会・修道院

地元の人たちとのふれあいが旅行の醍醐味、と考えたいけど、実際はそうもいかない。自分の性格もあるけど話す機会は結構少ないと思う。ただ、自分は絵が好きで旅行中いくつかスケッチをした。スケッチをしていると暇そうな子供たちや物売りの子供たちが集まってくることが何度かあった。片言のスペイン語を使って何とか会話しようとするがかなり難しい。難しいけど絵の感想を言ってくれたり、言葉を教えてもらったり、名前や歳を聞いたり、この旅行の中でもかなりいい体験となった。



マチュピチュの遺跡





一ケ月間の旅行で見た観光地は、マチュピチュの遺跡、イグアスの滝、南米のパリと言われるブエノスアイレスの街や世界最南端の町ウシュアイアなどでどれもすばらしかったが、特に遺跡をよく見た。インカ時代のもので、世界遺産の中でも特に有名なマチュピチュの遺跡は本当によかった。マチュピチュは山の上に造られたもので、そのふもとの村からバスで登っていく。昼間、遺跡は観光客でいっぱいだけど、朝早いバスに乗って上がっていったらかなりすいていてのんびりと見られた。ペルーの方へ行く人はぜひマチュピチュへ行って、それも朝のうちのすいている時間に登ってほしい。あの景色を独り占めした気分になれる。

どこも素晴らしい所ばかりで、いろいろな人とも会えたし、何よりも無事帰ってこられてよかった。今は資金をためつつ次の行き先を考えている。

Notice

市民夏まつり

8月25日(土)12時～
(雨天順延)

見柄山公園にて

詳細については実行委員会で検討中。楽しい企画を用意しております。皆さんの御参加をお待ちしております。

ＫＩＦＡ パーティー 日時決る

11月18日12時30分

総合福祉
保健センター６階

バーベキューパーティー

9月16日（日）

市民の森にて

詳細については、部会で検討中です。昨年は参加者の方が、音楽テープを持ってこられ、突如ダンスィグコーナーもでき大変盛り上がりました。皆様のご参加をお待ちしております。

日本語ボランティア研修会

9月1日、8日、22日
まなびいプラザ
14時～16時
講師
川端芳子先生

「みんなの日本語」の教え方

“子供のためのサバイバル日本語講座2001”

8月24～26日

ちば国際コンベンション
ビューロー

対象者：在日外国人の小中学生
参加費：￥800－
詳細は事務局まで

フレンドリー英会話入門講座

まなびいプラザ
10月4日～12月6日
13時半～15時

講師増田千佳先生

対象：60才以上の方の為に

ちばまなびいフェスティバル in 手賀

～国際交流の集い～
11月11日

手賀の丘少年自然の家
詳細は事務局まで

今年の「イベント」にアイデアをもとむ！

日程　12月9日（日）
於　総合福祉保健センター

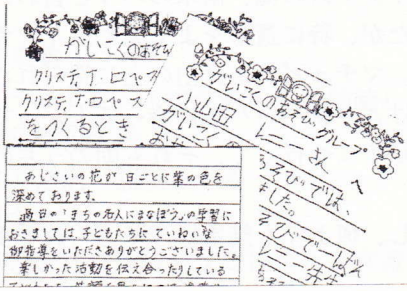
講演会，音楽会，映画会など、こんな人をと思ったらぜひアプローチの方法なども教えて下さい。８月末までに事務局へ

We did it

楽しそうな授業風景

外国人講師派遣

６月16日、19日中部小２年生の、生活科の授業の中で「まちの名人に学ぼう」という企画があった。その中で「外国のあそび」の講師として国際交流協会に要請があり、スペインのクリスティーナ・ロペスさんとフィリピンの小山田レニーさんが講師として派遣されました。レニーさんは音楽に合わせてゲームをしたり、輪ゴムだけを使った遊びをしたり、日頃テレビゲームなどに慣れている子供達はとまどいも見せていましたが単純な遊びの中にもおもしろさを発見しました。クリスティーナさんはマラカス造りを教えて下さり子供達は思いがけず手作りの楽器ができ大喜び。さっそく家で音楽に合わせて使ったようです。



先生と子ども達から講師の先生方にたくさんお礼状をいただきました。

東葛地区国際交流協会 日本語ボランティアネットワーク会議

６月９日（土）我孫子市民プラザにて第５回ネットワーク会議が開かれた。今年は我孫子、柏、野田そして鎌ケ谷と４市の日本語ボランティア20余名が集い、各地の情報交換をしました。将来、全体で何かをしたいなど活発な意見が出、３時間に及ぶミーティングは楽しく終了しました。

事務局より

・会員募集中

あなたのアイデアを生かして身近な国際交流をしてみませんか。お友達やご家族をお誘い下さい。
更新手続きが、まだの方も、お待ちしております。

・訃報

ワカタネ姉妹都市委員会メンバーでアプヌイ小学校校長のジョン・シャクソン氏がH13年４月逝去されました。シャクソン氏は鎌ケ谷からのホームステイ等で大変お世話になりましたのでメッセージとお花を贈らせていただきました。御冥福をお祈り致します。

☆第41号　ＫＩＦＡ Ｐｌａｚａのおわびと訂正
①７頁「チベットの旅」
「カイラス山」→「サガ近郊の美しい山」に訂正
②８頁「まなびいフェスティバル in 手賀」
文中３行目ガーナの民舞→
フィリピンの民舞に訂正

編集後記

今年度最初のＫＩＦＡ Ｐｌａｚａ第42号をお届けできる事を嬉しく思います。発行に当たりましてはＫＩＦＡ会員のみならず市民の皆さまにも原稿依頼や取材でご協力頂きました事に厚くお礼を申し上げます。

（S）